

各関係機関団体の長 }
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 4 年度病虫害発生予察特殊報第 3 号について

このことについて、下記のとおり発表したので送付します。

特殊報第 3 号

1 病名 キク小斑点病

2 病原菌 *Stemphylium lycopersici* (Enjoji) W. Yamamoto
(syn. *Stemphylium floridanum* C. I. Hannon & G. F. Weber)

3 発生作物 キク

4 発生の経過と概要

令和 4 年 10 月、県内の施設キクほ場で、上位葉に褐色の輪紋(図 1、2)や葉縁部に褐変症状を呈する株が確認された。福岡県農林業総合試験場で分離培養を行ったところ、*Stemphylium* 属菌が分離され、門司植物防疫所に同定を依頼した結果、*Stemphylium lycopersici* によるキク小斑点病と確定された。

5 国内での発生状況

佐賀県の施設キクほ場で、葉に褐色の輪紋や葉縁部が褐色に枯れる症状が確認され、令和 4 年に「キク小斑点病」として特殊報が発出された。令和 5 年 1 月時点で、特殊報は佐賀県のみから発出されている。

なお、本菌はトマト斑点病、トルコギキョウ褐斑病を引き起こし、これらの茎葉に病斑が形成されることが知られている。

6 病徴

葉に褐色の輪紋(図 1、2)や葉縁部が褐色に枯れる症状が見られる。また、花卉に赤褐色～紫褐色の小さな円形斑を形成する。

7 病原菌の性質

糸状菌の一種で不完全菌類に分類される。分生子柄の先端は膨らみ、黒褐色の環紋を有する。分生子は淡褐色～褐色であり、先端が円錐状の俵～長楕円形で、隔壁部がくびれている(図 3)。生育適温は 25℃である。

8 防除対策

- (1) 令和5年1月現在、本病に対する登録農薬はないため、耕種的防除を行う。
- (2) 罹病葉や罹病残渣は伝染源となる恐れがあるため、ほ場外へ持ち出し適切に処理する。
- (3) ほ場内の排水対策を徹底する。また、施設内が多湿にならないよう、適宜換気を行う。



図1 キク被害株



図2 キク上位葉の輪紋



図3 分生子

病虫害防除所のホームページでは、各種病虫害の発生状況を随時更新しています。

発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

○福岡県病虫害防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右QRコード①



最新の病害虫発生状況

○Twitter (ツイッター) で定期情報や警報等発出のお知らせを始めました。

Twitter の本アカウント (福岡県農作物病虫害情報) へのアクセス

URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka または右 QR コード

